

拔萃

クローム鋼に就て(承前)

(Engineering, Vol. CXII, No. 2919)

T O 生

特種クローム鋼及鐵の部類に屬し、最も興味あるものは所

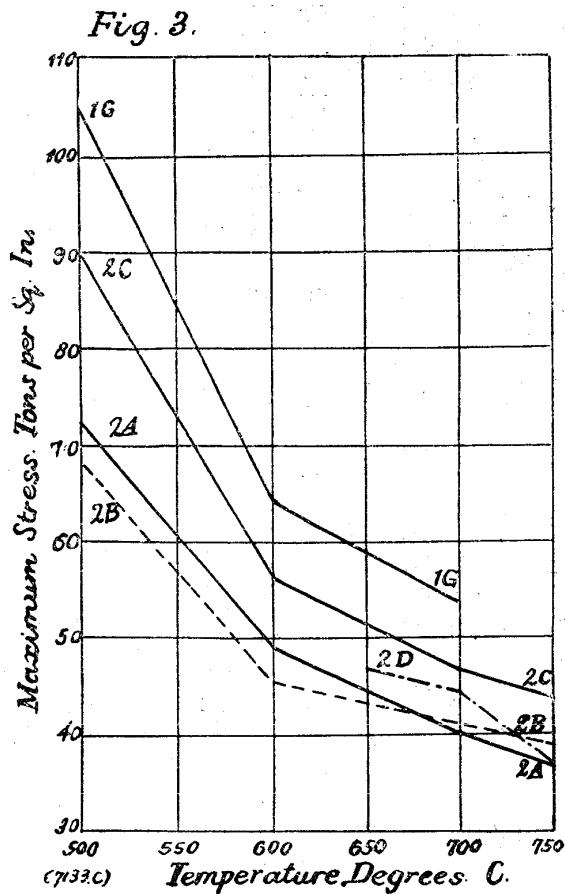
合に中等強度の材料にて満足するが故に、無錫鐵の機械的性質は必ず其要求に適應せざることなく、而も此種類に屬する材料は著名鋼より價格低廉に購求し得らる利便あるに反し、金屬其ものの真價は全く高からざることを知らざるべからず。第三表には、クロームの含有量種々異なる無錫鋼の化學的成分を掲げ、第四表には是等材料の機械的性質を示したり、而も試料は悉く適當の溫度より冷却に附し、次で異なる溫度に反淬せしものなり。

謂無錫性を帶ぶる材料にして、一般に是等の金屬はクローム約一二%内外を含み、之を醋酸或は同種類の液に浸漬するに決して發錫若くは腐蝕するなき事實を認められたり。然るに其機械的性能に至りては未だ深く知られざるのみならず、無錫材料の機械的性質は金屬に含有する炭素量の爲に自然影響を蒙むる所以を普く理解せざるに似たり。而も若含有炭素量多きに過ぐれば、實際其無錫性を消失することあるは極めて注意すべき特色と云ふべし。又普通無錫鋼に發見する量以下に炭素の配合量を低減するときは著しく其機械的性質に變化を生じ加之他の附隨する特質にも變化ありとす。亦他方に在りて、炭素量低き無錫鋼は鍛鍊及壓延作業を施し易きも、之が空氣健淬性は割合に減少するが故に、鑄造及熱間作業には表面に瑕疵を生じ易き傾向ありとす。

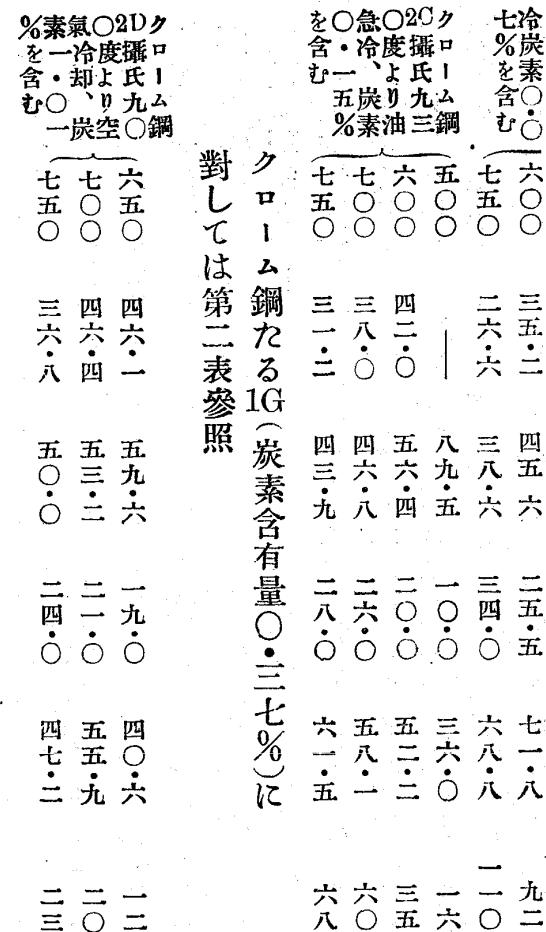
比較的炭素含有量僅少にして尙無錫材料たる資格あるものは以下之を無錫鐵と稱するも、此部類に屬する金屬は特に加工し易きを以て、特に薄鉄、條材及線等の製造並に比較的複雜なる汽鏈作業に依る製作品に適せり。既述したる無錫鐵の牽引抗力は概して著名なる鋼に劣ると雖、自動車製造業は割

		○2A クローム鋼及鐵				
		○2B クローム 度 油 急	○2A 攝氏 度 油 急	○2B 攝氏 度 油 急	○2C 攝氏 度 油 急	○2D 攝氏 度 油 急
		含 む 七 % を 油 急	含 む 冷 却 七 % を 油 急	含 む 冷 却 七 % を 油 急	含 む 冷 却 七 % を 油 急	含 む 冷 却 七 % を 油 急
第一行	反淬溫度	符號	炭酸%	硅酸%	滿倦%	クローム%
第二行	降伏點					ニッケル%
第三行	最大抗力					ノッヂドベ
第四行	延伸					
第五行	縮率					
第六行	封度					
第七行	面收					
第八行	四一・九	2A	○・〇七	○・〇八	○・一二	一・一・七
第九行	三三	2B	○・一五	○・〇九	○・一六	一一・八
第十行	三九	2C	○・三七	○・一九	○・一五	一一・〇
第十一行	二八	2D	一・〇一	○・〇六	○・二八	一一・八
第十二行	二八					
第十三行	二八					
第十四行	二八					
第十五行	二八					
第十六行	二八					
第十七行	二八					
第十八行	二八					
第十九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二十四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					
第二九行	二八					
第二十行	二八					
第二十一行	二八					
第二十二行	二八					
第二十三行	二八					
第二四行	二八					
第二五行	二八					
第二六行	二八					
第二七行	二八					
第二八行	二八					</

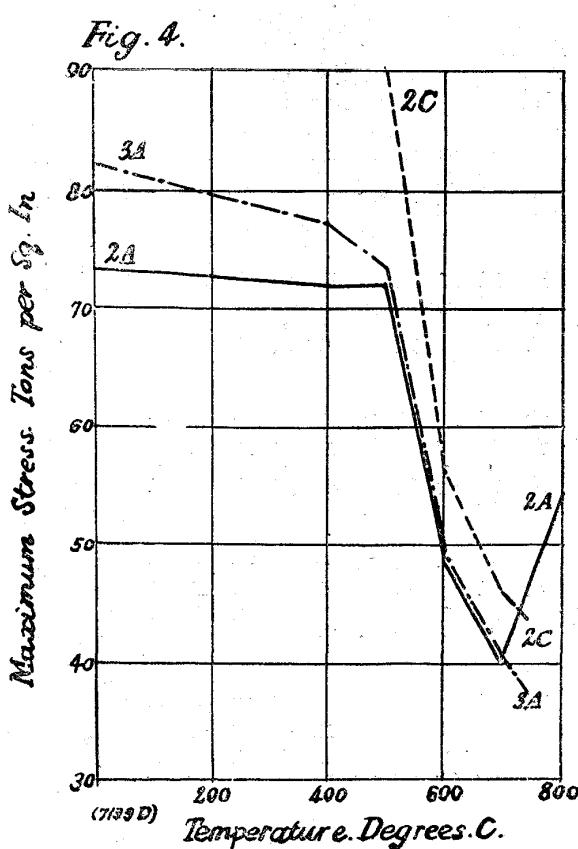
無錫鋼及鐵の機械的性質に及ぼす含有炭素量の效果如何は第五表及第三圖の曲線圖に示せる如く、炭素量異なる各材料の最大抗力を比較すれば蓋し明瞭なるべし。



是等の無錫鋼に對し其機械的性質に就き最大效果ある成分はクロームにあらずして、反て炭素なる所以を尙明瞭に知らむと欲せば、須らく第六表に示したる試験成績を參照すべし是等は次の成分を有する金屬より得たるものなり。



クローム鋼たる 1G (炭素含有量 0・三七%) に對しては第二表參照



稍々クロームの最大量を含有する材料の機械的性質は此種類の鐵と同等なるに拘らず、前者に屬するものはクローム含有量の低き材料に求め得られざる優秀の無錫性を帶ぶるが故に、實際上一般に多く採用せらるなり。

第六表 摄氏九〇〇度より油中に急冷したるA

反淬溫度 (攝氏)	降伏點 延/平方吋	最大抗力 延/平方吋	延伸 %伸	斷面收縮率 ノットドーバー	封度/呎
六六〇	八二〇	一三〇	四一・九	二〇	○・〇七
六四・〇	七七・四	一七・〇	四七・二	一七	○・一五
六九・〇	七三・六	一七・五	五一・〇	一七	九三〇
六〇・〇	四四・〇	二二・〇	六五・七	三七	七八
七〇・〇	三四・二	四一・〇	二七・〇	七六	一一〇
七五・〇	三三・〇	三七・八	二九・五	七二・〇	九八
八〇・〇	三四・二	二一・〇	四七・二	九九	九〇〇
三三・〇	二一・〇	一七			一〇六

3A	2D	2D	1G	2C	2B	符號	炭素%	空氣冷却	最大抗張力 /平方吋
						○・一七	九三〇	九〇〇	五八
						一〇一	九三〇	九〇〇	七八
						一〇〇	一一〇	一一〇	一一〇
						四九	一〇六	九八	九八

表中B及2Cとの比較上自然クローム含有量は含炭量の如くに其效果著しからざるも若干鋼の空氣健済性に影響ある所以を示さんが爲めAを掲げしに過ぎざるなり。

數年前より、クローム鋼は特に著しく摩耗に堪ふる性質あることを世に知られ注意を惹起したり。就中軸承球の摩耗に對する抗力の大なるを要求する部品の製造に供せられ多大の利益を與へたり。然るに刃具鋼として良好の仕事を爲し、且其質強く摩耗に對して相當の抗力を求むる條件の下に、克く佳良の成績を收め得るものとして、世に知られたる純炭素鋼は、昔時より強固の材料に對する基準とし來れる慣習なりしが、是等は普通約一%の炭素を含むものたるを以て、若斯の類の鋼にクロームの如き合金元素を若干添加するあらば、既に摩耗抗力高き鋼は、一層其特性を増大する所以をブリネル硬度試験に依り實認し得るを知るに到れり。此事實は若處理に當り、彼の著名なる無錫鋼に比較し遙に其健済性を缺く所以を説明せんが爲には、各種材料の性状を示すを有利なりと信するが故に、第七表には大氣中の冷却後に於ける各含有炭量異なる金屬の最大抗力を示せり。

第七表

此種類に屬する鋼に就き若干重要なのは、之が組織と材料

の性質に及ぼす其の効果とに關する問題にして、一般に純炭素鋼は炭素約〇・八五%以上含有することを知悉するも、又

顯微成分として遊離炭化鐵をも含むものたり。而して此遊離炭化鐵は普通に鋼の結晶を圍繞しありて其鋼に對し常態に於て燒入れを施したる後にも尙此位置を占むるを常とす、之れ燒入れ溫度低きが故に炭化物を熔態に變するに足らざればなり。

是を以て遊離炭化物は鋼の結晶間に介在するを以て、自然其性質を脆弱ならしむる傾向あり、從て此方面に於ける遊離炭化鐵の作用は大に鋼の結晶を互に分離せしむるに與て力あるを認められ、若其徑路に沿ひ多少鱗裂の生ずるあらば、遂には其途を辿りて益擴大すること容易なるは、恰も過度に炭滲せられたる結果、遊離炭素を含むに到れる表面燒入れ部品に招く危險と同一なるべし。

又クロームを含む鋼に在りても尙此遊離炭化物を生ずるも其成分は必しも純炭素鋼に含めるものと同一ならず、然れどもクローム鋼に或量の炭化物を生ずるには、之が炭素の含有量〇・八五%の如く多量なる要なきなり。故に炭素約〇・七五%を含み一%若くは一・五%のクロームを含む鋼は、遊離炭化物を含む少量なるも、此成分量は鋼中に含む炭素量の多さに従ひ益々增加するものとす。是を以て斯の如き此成分の危険性に鑑み、鋼の含炭量を可成的〇・七五%附近たらしむるには、之が結果鋼の機械的性質に危害を及ぼさざる様注意するを得策とす。第五圖(省之)には炭素約〇・八五%を含み從て遊離炭化物の存するクローム鋼の組織を示せり。

第八表には球軸承の製作に適する模範的低炭素鋼の機械的

性質を示せり、而して之が試験鋼の化學的成分は次の如し。

炭素%	硅素%	満倅%	硫黄%	磷%	クローム%
〇・七五	〇・一六	〇・三四	〇・〇三四	〇・〇三五	一・二九

第八表 軸承用鋼の機械的性質

反淬溫度	降伏點	最大抗力	延伸	斷面收縮率	ノッヂドーピ封度
五〇〇	八二・八	八八・七	一〇・〇	二七・六	九
六〇〇	六三・六	七〇・八	一七〇	四五・九	二五
六五〇	五五・二	六三・五	二〇・〇	五一・〇	三八
七〇〇	五四・三	五九・六	二一・〇	五二・二	四八
七五〇	三九・一	五三・七	二六・〇	五八・〇	三八

クローム鋼に就き論ずるに當りては、若干量のヴァナデウムを添加したるクローム鋼に對し着眼するを要す。而して此種類に屬する鋼には幾多の利益ありと主張せらる。(1)一成分としてヴァナデウムを含むクローム鋼は其之を有せざるものより遙に其質強靱緻密にして組織均齊なるのみならず、疲れに對する抗力稍々大なりと論ぜられ、嘗て之が疲れに對する主張の謬るなきを證する爲め、試験を行はれたりと雖、其結果は眞實とするに足らざりき。(2)の主張は之を實驗すること極めて困難にして、時に或は精細を缺くことあるべし、之に反し第一の主張は、試験に依り立證するは容易なり。

元來ヴァナデウムは鋼の機械的性質に良效果を及ぼし、且此元素の添加は著しく其鋼の抗張力を増進するものたるを認め得らると雖、ヴァナデウムの添加に因り生ずる強度の増加は果して爲に要する此元素の價格に相當するや否やを究めざるべからず。然るに此點を考察するに、ヴァナデウムは實際クロームの附與し得られざる性質を能く鋼に與ふと雖、ヴァナ

デウムの添加に依り當然得べき良好の成績として、ヴァナデウムの效力は將にクロームの約四〇倍に達せざるべからず。而もヴァナデウムに斯の如き偉力なきは第十表に示す成績に依り判定し得らるべし。

此試験に供せし鋼は二組にして一組は普通の低含炭量のものを探り、他の一組は亦普通の含炭量多き部類のものたり。而して各組の一材はヴァアナデウムの普通量を含み、他材は全く之を含まず、而も第一材よりは稍々多くクロームを含むものたり。第九表には是等供試片の化學的成分を示せり。

第九表

クローム鋼及鐵に對する此の極めて簡易なる試験の結果
判定すれば恐らく次の如きなり。

ば、必要の機械的性質並に焼入れ上遊離炭化鐵の集合結果に對し可成的抗力大なるものを得べし。又全く寸度小なる部品及小徑なる調質桿材に在りては、一乃至一・五%のクロームを含有せば充分なりとす。

炭素の適量を含む鋼に在りては、其材料の機械的性質に及ぼすクローム含有の影響始め大にして、急速に著しく隔てる最高度に騰ると雖、其後は漸次に衰頼するは、第一種のクローム鋼に對し行はれた試験成績に徵して明かなり。

クローム鋼に於ける炭素含有量の効果極めて大にして、爲にクロームの效力を減殺すること夥しく、之れクローム含有量の多少を問はず等しく其影響を蒙るものなり。無錆性を帶び竝に機械的性質の良好なるを重要條件とする用途に對しては、他の使用に堪ふる幾多種類の材料あり。而して自動車製造技師の求むる機械的要件に適するものは、無錆鐵にて充分なるべし。此種類に屬する材料は多量の炭素を含む無錆鋼。以上ならざるも、全く無錆性を帶び高級炭素鋼よりは遙に加工し易きのみあらず、使用に便なる形狀のものを求むることを得べし。

クローム鋼にヴァナデウムを添加すれば、果して之が機械的性質上に幾何の利益ありやは未だ不明なりと雖、其試験成績は第十表に掲ぐるが如し。

第十一表

附 錄 B

クローム鋼及鐵に就き記述するに當り、是等材料の無錫性を説かざるは少しく妥當ならずと雖此問題は既に他の専門大書家之を詳述して餘瀆なきが故に、茲に縷述する要を認めれば省きたり、要するに一四%のクロームを含鐵材料に添加するときは、眞に是等のものに無錫性を與へ得べしと雖、之が無錫性を生ずるに缺くべからざるクロームの實際含有量は、或範圍迄炭素含有量に關係あるを以て、一般に炭素量著しく低下せる場合には、従つてクローム量を減ぜざるべからず。

又材料の成分如何は大に之が有する無錫性の程度に影響あり、換言するに金屬其もの、調質方法如何は其無錫性に深き關係ありて、健淬、狀態を成せる材料は腐蝕に對する抗力著しく、反淬せるものに在りては假令攝氏六五〇乃至七〇〇度に於ける反淬後と雖、其腐蝕抗力稍々前者に劣り而も發錫抗力頗る良好なりとす。之に反し若常態に反淬せられし者たらば之が腐蝕抗力の減却すると著しく尙其の發錫抗力大なり。然れども鋼の腐蝕及發錫抗力を酸化に對する抗力と混同するなきを要す。何となれば實際問題としてクローム鋼及鐵は酸化(反作用なき大氣中の酸化)に耐ふること良好にして特に高溫度に於て然りとす。去れば高度の無錫性を附與すると同時に著しき酸化抗力を生ぜしむる爲、炭素鋼に多量のクロームを添加する必要を認めず單に七乃至八%のクロームを含有せしむれば其酸化抗力著しなり、要するに無錫性を帶ぶる。

程度にクロームを含む鋼と酸化層を組成せざるものとは互に密接の關係を保ち、全く組織の分裂を招くが如き傾向あらざり、

るなり。(完)

米國自動車工業概況(本年前半期)

在シカゴ 帝國領事 桑島主計

本年九月十六日發行雜誌ダン・レヴュー紙上に自動車工業と題し各主要自動車工場が全能力を發揮して自動車の製造に從事し居れるに拘はらず、一般の需要に應ずること能はざる過去數箇月間の事實を指摘引證して、之れ運輸機關の障害及燃料供給不足の結果其製產能率を阻止せられ製造業に打撃を與へたるものなりと論じ居れるが、右は事實を有の儘に述べたものにして、最近鐵道炭坑等の罷業は自動車工業に多少の影響を與へたるが如きも實際其生産額を前年同期間に比較するときは自動車の生産及販賣高は大に増加し居れり。

然るに最近に至り又復品薄を傳へられ一般に買氣を煽りたる結果は一二中心市場に於て各社販賣同業者間に猛烈なる競争を見るに至り販賣人は僅少の利益を以て各種の利權を附與し或は種々の讓歩をなしつゝあり。

運搬用及商用自動車は乗用自動車に比し其賣行僅少なるも或都市に於ては地方の發展に伴ひ運搬用及商用自動車の賣行良好なりと傳へらる。古自動車は各市場に於て取引行はれ一箇年前の同期に比し其品質良好なるも一般に品薄なりと稱せらる。

本年前半期に於て勞銀及護謨材料品値下の爲に價格是一般に下落したるも尙此上現在價格以下に下落すべき傾向殆どな